



1563年に大村純忠が洗礼を受けた横瀬浦(西海市)



長崎街道沿いの松原宿に建つ旧松屋旅館(大村市)

# 長崎と天草地方の「世界遺産巡礼の道」

## エリアⅣ キリシタン大名と少年使節の道 (巡礼路17~27)

(長崎市、西海市、佐世保市、川棚町、波佐見町、東彼杵町、大村市、諫早市、雲仙市)

日本で最初のキリシタン大名である大村純忠の領内ではキリスト教が広まり、キリシタン文化も栄えました。1582年には、その領内の出身者である中浦ジュリアン、原マルチノ、千々石ミゲルの3名、そして伊東マンショからなる少年使節団が、ローマ教皇の元へ派遣されました。

本エリアには、11の巡礼路があり、このうち「巡礼路24」は千綿駅から長崎街道をたどり、大村純忠の本拠地大村市内を巡るコースです。

### 長崎と天草地方の「世界遺産巡礼の道」とは

世界文化遺産をはじめとするキリスト教関連遺産をたどる道として、35の巡礼路をテーマごとに5つのエリアに分けています(総延長約465km)。各エリアの代表的な巡礼路をシリーズ(5回)で紹介します。

千綿駅のレトロな木造駅舎。ホームからは美しい大村湾が一望できます。



ミライオン図書館には大村市のキリシタン史について学べる大村市歴史資料館も併設されています。



問合せ 県の世界遺産課 ☎095-894-3171 潜伏 世界遺産巡礼の道 検索